

9月まで続いた暑い夏もようやく落ち着きました。インフルエンザは暑い夏の間は罹患する人は激減していたというのに、新型コロナはそうはいきませんでした。第7波は容赦なく日本を襲い、世界でもトップクラスの感染者数を毎日たたき出していました。日本はほとんどの人がマスクもつけているし、感染予防も気を付けていると思うのに、なぜこれほどまでに感染者が増えるのか？いろいろな見解が唱えられていましたが、現在の感染拡大の要因としては、「・人流の増加・ワクチン接種後からの時間経過による感染予防効果の低下・BA.5の拡大など」が挙げられると言われています。これらはいずれも日本固有の問題ではなさそうですし、BA.5はすでに世界中で広がっています。日本でこれほどまでに感染者が増え、欧米ではそれほど爆発していないことについて、何か理由はあるのでしょうか？要因の一つとしては、検査数の減少が挙げられます。オミクロン株の拡大以降、世界的に検査数の減少が指摘されています。

実際には日本以外の国でも報告されていない感染者が多く存在し、過小評価になっている可能性があるとのこと。お互いが不織布マスクを着けることで、浴びるウイルスの量を約70%減らすことができた、というマネキンを用いた実験があります。7割減、ですから100%減らせるわけではないことに注意が必要です。お互い不織布マスクを着けていたとしてもウイルスに曝露してしまうことはありますので、感染するリスクがゼロになるわけではなく、実際にBA.5が広がっている現在、お互いがマスクを着けている状態で長時間一緒にいたことで感染したと考えられる事例も散見されます。とは言え、感染リスクが大きく下がることは間違いありません。しかし、実際には多くの人がマスクを着けている日本でも、感染が起きているのは家庭内や会食、職場の休憩室など、お互いがマスクを着けていない場で起きている。マスクは新型コロナの感染対策としては重要ですが、マスクだけで流行を抑えることは困難と言えます。実際に日本では、7月以降、新型コロナ新規感染者数は急激に増加しており、欧米や東アジア諸国と比べても多くなっています。マスクの着用によってウイルスを含む飛沫を減らすことで感染予防に役立つ一方で、やはりそれだけでは感染を防ぐことは困難であることが分かります。



総じての見解としては ↓以下がまとめられています。

- ・ 3回のワクチン接種でもある程度感染を防げるが時間経過とともに予防効果は低下する
- ・ イギリスはオミクロン株に感染する人が急激に増えハイブリッド免疫を持つ人が増えたことで感染者数や重症者数は他国よりも比較的少ない(ハイブリットとは「ワクチン免疫+感染免疫」の二種を持つこと)
- ・ 日本よりも先にBA.5が侵入したポルトガルやフランスはすでにピークを過ぎている
- ・ アメリカもすでに多くの人がオミクロン株に感染していると考えられるが、ワクチン接種率が低いと多くの重症者・死亡者が出ている
- ・ 日本はワクチン接種率が高いが時間経過により感染予防効果が低下し、オミクロン株に感染する人がまだ多くないため感染者が増えている

日本でも三回目のワクチン接種率が65%近くと増えていますし、9月末からはオミクロン株に特化したワクチン接種も始まりました。感染対策とワクチン効果で変異を続けるウイルスも弱体化して「風邪」並みになってほしいですね。

マルジン 10月のカレンダー							～く立て込んでおります・・・～
日	月	火	水	木	金	土	
						1	今期は春先からずっと立て込んでおります。 10月もちろん ますます・・・ 忙しくさせていただいております。 心苦しい限りですがお断りさせていただく ことも…ご依頼の際は どうぞ お早目にお声をかけてください。
2	3	4	5	6	7	8	
9	10	11	12	13	14	15	
16	17	18	19	20	21	22	
23	30	24 31	25	26	27	28	
						29	

## 2022年10月第299回は～マルジンの小型モノレールは リニューアルしました！～について

マルジンの小型モノレールは「45度200k積」という機種が定番です。

長年慣れ親しんだ「三菱エンジンT430」というエンジン。扱いやすく小ぶりでも力強く パンパンという軽やかなエンジン音が山の斜面を駆け上っていきました。

そのエンジンT430が あくまで自主規制ではありますが EPE、EC（欧州排ガス規制）規制に準じた内容に できる限り努力するという事で メーカーが2サイクルモノラック用エンジン（T430）の生産を中止することになりました。平成19年12月末のことです。

その後 生産は中止となりましたが 10年間 補用部品の供給がございまして その後もマルジン内での在庫部品で対応したりしておりました。

そして T430エンジンに代わる機種「ブリックスエンジン搭載の機種M300」を 徐々に増やしてまいりました。新機種の性能も保守点検も お客様に「これなら 安全安心につながるだろう」という自信もつきましたので

**マルジンの現場には もう新機種「M300」しか導入しない**

と決めまして T430エンジン機種は引退となりました。

「T430」愛着ある機種でしたので マルジンとしては感慨深いところではございますが…これで、年老いた機種は一掃となります。そして「M300〇〇」という機種は お客様にはもう徐々にご愛顧いただいておりますので「え？リニューアル？」と思われるかもしれませんが、今後はすべての現場で「M300」です。



M300M（三菱エンジン空冷4サイクル）、M300B（ブリックスエンジン空冷4サイクルエンジン）搭載の機種で どちらも **通常運転で45度傾斜において 最大積載量300kg** が可能となりました。

ブリックス製4サイクルエンジン搭載にリニューアルすることで 一人乗り乗用台車+荷物台車のセットにて 荷物台車の積載量が200kとなりました!!（旧軽量モノレールでは 一人乗り乗用台車の時は120k）そして ブリックスエンジンM300Bは「前進登坂45度 前進降坂45度」と パワーアップ！レールコースの多様化が実現され 下りコースで分岐設置が必要なくなったのは 荷積みの安全性も含め 注目していただきたいです。悪天候に左右されず より安全に・簡単に・快適に…皆様のニーズにこたえてまいりたいです。

<追伸>マルジンを引退したモノレールでもまだまだ働ける元気なモノレールは きちんと整備され 農業用や平坦な現場が多いご利用者様のもとに「第二の活躍の場」を求めて旅立っていきました。「マルジンさんの機械なら安心して扱えます」という ありがたいお言葉とともに…